

ひなたレター

E mail hinata-jimu@face.ne.jp

はじめに

今回は台風の影響から開催について心配された会員研修会でしたが、宮崎公立大学を会場に50名を超える出席をいただき、開催することができました。ありがとうございました。



このレター（会報）は、全会員の皆様に、本会の運営状況や社会教育・生涯学習等についての情報をお知らせするものです。基本的には、電子メールで送信していきますが、郵送が必要な方につきましては、会費より通信費として使わせていただきます。

臨時総会

臨時総会には、本会の一般社団法人化にあたり、そのねらいやメリット等について、恵利会長（写真）から説明のあと、本会の趣旨にご賛同いただき新たに入会された新法人会員の紹介、6月からこれまでの事業報告と収支について報告がなされました。その後、一般社団法人の役員案、事業計画及び収支予算書等が提案され、会員の皆様の了解をいただきました。本総会をもって、本会は一般社団法人化され、会長は、黒木政信氏（宮崎公立大学地域研究センター事務長）が選出され、新体制でスタートします。なお、臨時総会で報告がなされ決定したことにつきましては、別紙資料でご確認ください。本会の進行は島名会員、記録を矢括会員にお願いしました。おかげさまで会がスムーズに進行しました。ありがとうございました。



【臨時総会】

講話

講話は、副会長でもあり、株式会社ホテルマリックス代表取締役社長枝元倫介氏に「毎日が真剣勝負～ひなたネットワークにかける思いと期待すること～」と題してご講話をいただきました。

枝元社長の歩んでこられた道について、3つの大きな転換点をお示しいたきながらの話は、大変迫力のあるものであり、いろいろな困難を乗り越えてこられてきた中でも、社員第一主義に徹してこられたことをはじめ、どのような経営理念にに基づいてここまで経営されてきたかを赤裸々に語っていただきました。更に、会に期待することを、ご自身の経験談を基にわかりやすくお伝えくださいました。

「覚悟と根気」「謙虚さ」を大切にすること、他者から必要とされ続ける組織はどうあるべきか等、これからの本会の方向性にも大きな示唆をいただきました。会員からも熱心な質問や意見が飛び交い、充実した講演会になりました。会員からも「もっと聞きたかった」等の声が多く聞かれたお話でした。



【枝元社長の自熱した講話】

【グループディスカッション】

講和後のグループディスカッションでは、4人1組になって「ひなたネットワークでできることや・取り組みたいこと」をテーマに話をしました。初対面の方も多い中でしたが、すぐに打ち解け熱心にディスカッションする姿が見られました。さすが思いが同じ方の集まりだと改めてうれしくなった瞬間でもありました。いろいろな意見・アイデアが出されましたのでいくつかご紹介します。



- 県内各地に会員がいるというネットワークを強みにした取組を考える。
- 官民一体となったイベントや市町村とのコラボレーションを企画していく。
- 地域づくり選定実行委員会を作り、支援する団体を選んで補助金を出し、その実績を生涯学習実践研究交流会で発表してもらう。 【会員の熱心な発言】
- 多くの方への本会の取組を知っていただくために、大型店舗や中心市街地での広報活動はできないか。（例：えれこっちやまつりで踊る 一番街等でのワークショップ 等）
- 団体と団体とつなぐ役割や、団体同士をコラボレーションすることもおもしろいのでは。
- 地域では様々な活動が行われているので、本会が各団体の情報を他の団体に伝えた利率ないでりすることで活動の広がりも出てくるのではないか。
- 企業の新入社員（若手社員）研修と本会研修の合同開催はどうだろうか。
- 活動のきっかけになるような講演会が開催したい。 ○ 交流会は毎回した方がよい。
- 本会の運営をスムーズに行うため、専従の方をおいた方がよいのでは。

会長挨拶 黒木政信（宮崎公立大学地域研究センター事務長）

新会長を仰せつかりました、黒木です。よろしくお願ひいたします。まずは、恵利さんが木城町の教育長に就任されたことを、皆さんとともに喜び、私たちの「ひなたネットワーク」の仲間が重職につくことを嬉しく思います。おめでとうございます。今後、木城町だけではなく、県全体の教育に関わっていかれることと思います。

さて、平成21年度までは、「宮崎県社会教育協会」があり、各市町村の社会教育・生涯学習について協議したり、実践発表を行ったりして、関係者の資質向上を図っていました。現在、その協会は消滅してしまっています。県や市町村に予算が潤沢にある時代には、社会教育・生涯学習にも予算がかなり回ってくるけれども、財政が困窮してくると、一番先に削られるのが、社会教育・生涯学習ではないか、と思います。私が県生涯学習課に勤務していた時も、「自分の学びは、自分でやってもらうのが当然」として、予算をどんどん削られていった記憶があります。

県や市町村の財政が困窮している現在でも、子どものため、地域のために、地道に活動している人たちがいます。ひなたネットワークは、そんな人たちに光を当て、支えていく活動ができるのではないかと。また、私たち皆のアイディアで、地域づくりを含めた宮崎県の社会教育・生涯学習の振興を図る活動を考えていけるのではないかと。思います。

「ひなたネットワーク」には、私たち個人だけではなく、多くの企業も入ってくださっています。そのおかげで、予算もかなり大きなものとなりました。一般社団法人化することにより、より社会的信用を受けることができます。その信用をなくすことのないよう、皆で力を合わせていきたいと考えています。

また、新しい理事として、島名さんが会計として入ることになりました。島名さんも含めた、7名の理事と2名の監事で皆さんのお役に立てるような仕事をしていきたいと考えます。

どうぞ、よろしくお願ひいたします。